

### 環境調査結果のお知らせ

#### 概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類に対して有害とされるコクロディニウム・ポリクリコイデスは確認されませんでした。

また、麻痺性貝毒の原因種とされるギムノディニウム・カテナータムも確認されませんでした。

**コクロディニウム・ポリクリコイデスは注意基準が10細胞/mLとなっており、環境条件等によっては増殖する可能性がありますので、引き続き養殖魚の飼育管理には十分注意してください。**

また、ギムノディニウム・カテナータムは1細胞/mLに達すると二枚貝（食用を含む）を毒化させる可能性があります。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ギムノディニウム・ カテナータム
栄喜奥 (-/11.5m) 【09:29】	★ 0	19.4	23.9	7.7	0	0.00
	5	20.3	34.4	6.2	0	0.00
	10	20.0	34.4	5.9	0	0.00
ヒロウラ沖 (-/25.7m) 【8:57】	0	20.5	33.3	6.5	0	0.00
	5	20.3	34.3	6.7	0	0.00
	★ 7	20.3	34.4	6.4	0	0.00
	10	19.9	34.5	6.1	0	0.00
	15	19.6	34.5	5.9	0	0.00
ヒロウラ丘 (-/19.4m) 【9:10】	0	17.6	14.5	7.8	0	0.00
	★ 5	20.3	34.4	6.5	0	0.00
	10	19.7	34.5	5.9	0	0.00
	15	19.3	34.5	6.1	0	0.00
青瀬山 (-/16.2m) 【9:39】	★ 0	19.1	21.1	7.9	0	0.00
	5	20.5	34.4	6.6	0	0.00
	10	20.1	34.5	6.2	0	0.00
	15	19.2	34.5	5.9	0	0.00

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp)においてもご覧いただけます。

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期※3
				宿毛湾
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月
ギムノディニウム・カテナータム	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	2～7月

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。